

# 令和元年（1月～12月）における救急概況

\* 比較値については、前年の確定値と比較しています。端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

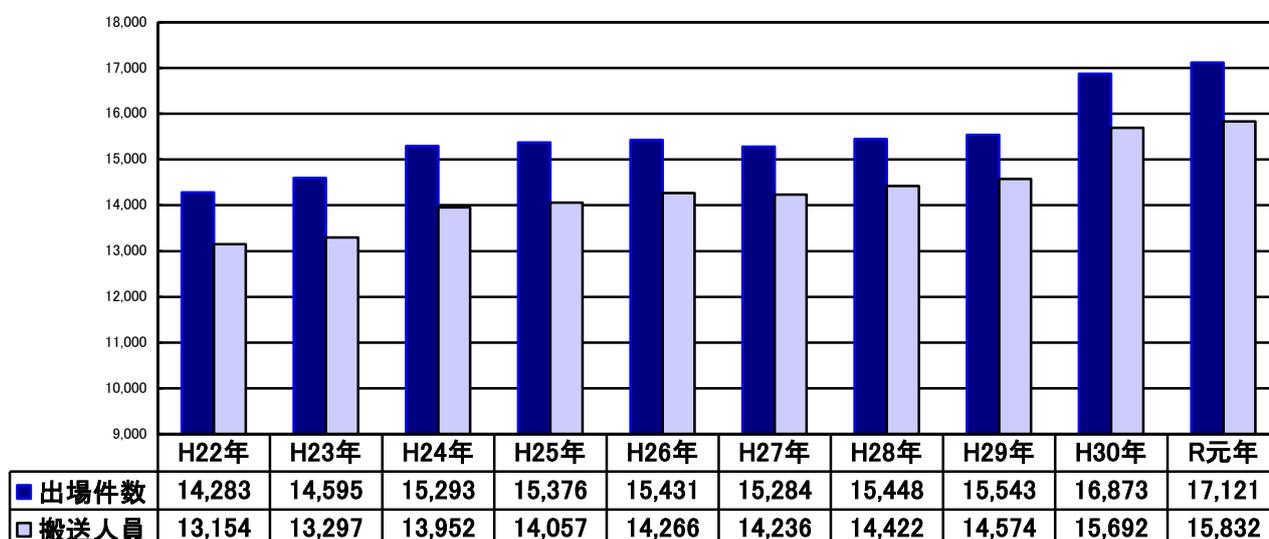
## 1 救急出場状況

令和元年中の救急出場件数は17,121件で、前年と比べると、248件増加している。これは、1日平均47件（31分に1件）の割合で救急車が出場していることになる。

搬送人員は15,832人で、前年と比べて140人増加している。出場件数、搬送人員とも過去最多となった。（第1図）

（件・人）

第1図 救急出場状況



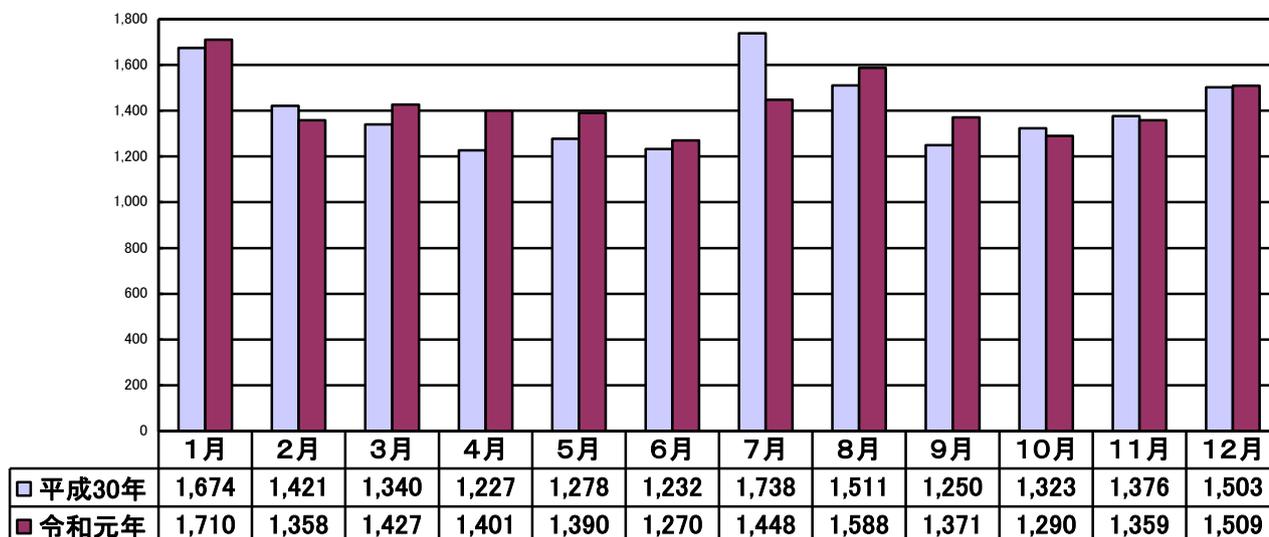
## 2 月別出場件数

救急出場件数を月別で見ると、1月が1,710件で最も多く、次いで8月が1,588件、12月が1,509件の順となっている。

前年と比べると、増加している月が8か月、減少している月が4か月であった。（第2図）

（件）

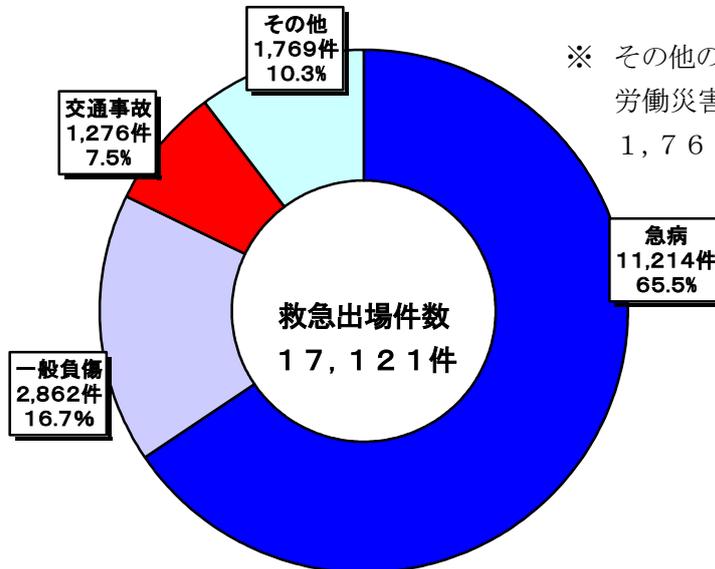
第2図 月別出場件数



### 3 事故別出場状況

救急出場件数を事故種別ごとにみると、急病が11,214件、次いで一般負傷が2,862件、交通事故が1,276件となり、これら3種別で全体の90%を占めている。(第3図)

第3図 事故別出場状況

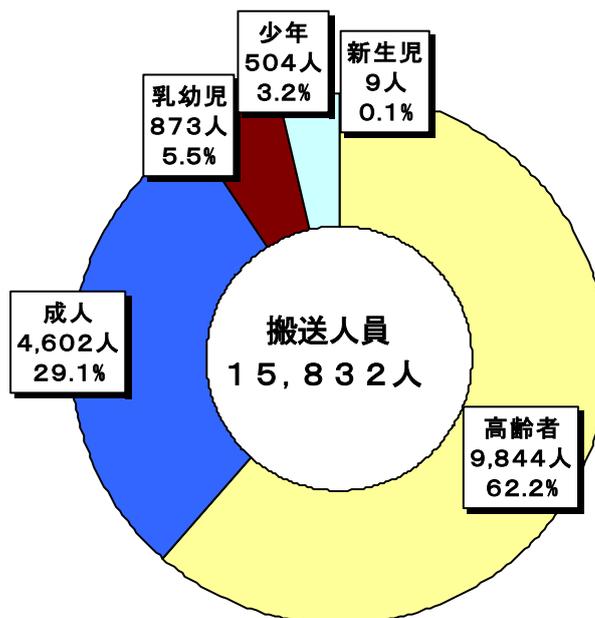


※ その他の件数にあつては、転院搬送、労働災害、自損行為、加害等の合計1,769件である。

### 4 年齢区分別搬送状況

搬送人員を年齢区分別にみると、高齢者が9,844人で全体の62%を占めており、次いで成人が4,602人、乳幼児が873人、少年が504人、新生児が9人の順となっている。(第4図)(注1)

第4図 年齢区分別搬送状況



(注1) 新生児	生後28日以下	乳幼児	生後29日以上6歳以下
少年	7歳以上17歳以下	成人	18歳以上64歳以下
高齢者	65歳以上		

## 5 診療科目及び管内外別搬送状況

搬送人員を診療科目別にみると、内科が4,976人で、次いで整形外科が2,632人、脳神経外科が2,346人の順となっている。

搬送先医療機関については、全体の79%が市内で、21%を市外へ搬送している。(第1表)

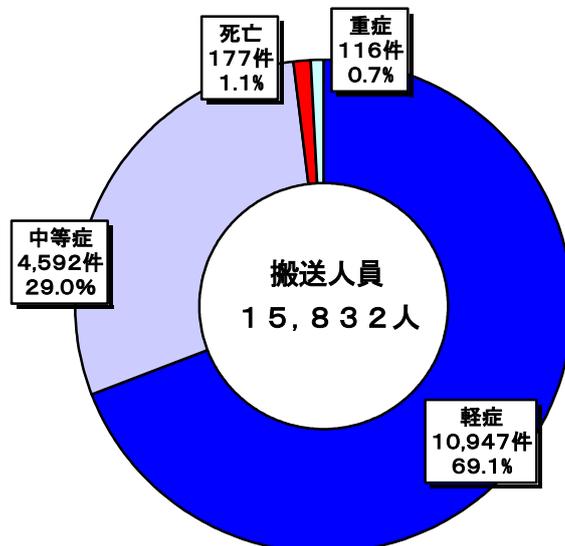
第1表 診療科目及び管内外別搬送人員

	八尾市内	八尾市外	合計(人)
内 科	4,178	798	4,976
循環器科	793	258	1,051
呼吸器科	900	275	1,175
小児科	286	445	731
新生児科	1	4	5
外 科	425	158	583
整形外科	2,251	381	2,632
脳神経外科	1,894	452	2,346
胸部外科	0	2	2
腹部外科	22	29	51
血管外科	4	11	15
口腔外科	9	18	27
小児外科	4	3	7
産婦人科	43	101	144
泌尿器科	191	56	247
皮膚科	9	3	12
耳鼻咽喉科	88	21	109
眼 科	10	21	31
神経内科	1,364	209	1,573
精神科	35	71	106
歯 科	5	4	9
そ の 他	0	0	0
合 計	12,512	3,320	15,832

## 6 傷病程度別搬送人員状況

令和元年中の救急車による搬送人員の内訳を傷病程度別にみると、軽症（外来診療）が10,947人（69.1%）、中等症（入院診療）が4,592人（29.0%）、重症（長期入院）が116人（0.7%）、死亡（177件）が1.1%などとなっている。（第5図）（注2）

第5図 傷病程度別搬送人員状況



（注2） 死亡 : 初診時において、死亡が確認されたもの  
 重症（長期入院） : 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの  
 中等症（入院診療） : 傷病の程度が重症または軽症以外のもの  
 軽症（外来診療） : 傷病の程度が入院加療を要しないもの

※傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者も含まれている。

## 7 応急手当の普及活動

救急車の要請から現場に到着するまでに要する時間は平均8.0分である。

救急車が現場に到着するまでの間、救急現場近くの住民等による応急手当が適切に実施されれば、大きな救命効果が得られる。

消防本部では、住民の間に応急手当の知識と技術が広く普及するよう特に心肺停止状態の傷病者を救命する心肺蘇生法（人工呼吸・胸骨圧迫・自動体外式除細動器（AED）の使用方法）技術の修得に主眼を置き、住民体験型の普及啓発活動を積極的に推進している。（第2表）（注3）

第2表 普及啓発活動状況

対象区分	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	応急手当訓練	自主防災組織	合計
実施回数	38回	2回	4回	71回	32回	147回
受講人員	1,180人	71人	120人	2,685人	4,994人	9,050人

（注3） 普通救命講習Ⅰ : 心肺蘇生法・AED・止血法の3時間講習  
 普通救命講習Ⅱ : 普通救命講習Ⅰの内容に効果測定を加えた4時間講習  
 普通救命講習Ⅲ : 心肺蘇生法（主に小児・乳児・新生児）・AED・止血法の3時間講習  
 応急手当訓練 : 3時間に満たない心肺蘇生法・AED・止血法の講習  
 自主防災組織 : 自主防災組織への心肺蘇生法等の普及啓発状況